

令和元年度 英語科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1. 昨年度の「改善プラン」の検証

(1) 【成果】

小学校からの連携で、「書くこと」の項目に力を入れており、また、授業内でも「書くこと」の反復練習をしていたため、目標値を大幅に超えることができた。

また、自己紹介やスピーチ発表、ペアワークなどを多く取り入れることによって、生徒の表現力やコミュニケーション能力の向上を図ることができた。

(2) 【課題】

2年生については、学習効果測定で、昨年度に比べ4ポイント下がり、3年生は5ポイント下がった。2年生は「書くこと」の項目、特にまとまった内容で説明する文を3文以上書くこと、3年生は「読むこと」の項目、長文の読み取りが課題としてあげられる。

2. 授業改善のポイント

※改善内容に観点【関】【表】【理】【知】を記入。

1 学年

- ・ICT機器の使用、導入時のビンゴゲームの活用、視覚に訴えかける教材等を使用する。また、フラッシュカード等を使用しての単語学習や単語タイムトライアルなどを実践し、関心・意欲・態度を引き出す。【関】
- ・教科書の問題を中心に、ある程度まとまった量の情報を聞き取る。【理】
- ・ALTとの活動や、実際のALTと会話することで、英語を話す力を身につける。【表】
- ・スピーチやグループワークなどで、自分を表現する力を身につける。
- ・単語テスト、小テスト等を繰り返し行うことで、既習事項の知識の定着を図る。【知】

2 学年

- ・ICTの機器の使用、導入時のビンゴの活用、フラッシュカード等を使用しての単語学習、アクティビティを活用し生徒の関心・意欲・態度を引き出す。【関】
- ・教科書の問題を中心に、ある程度まとまった量の情報を聞き取る。【理】
- ・ALTとの活動や、実際のALTと会話することで、英語を話す力を身につける。【表】
- ・日記、職場体験など身近な話題を英作文しスピーチすることで、書く力・話す力・伝える力を身につける。【表】
- ・単語テスト、小テスト等を繰り返し行うことで、既習事項の知識の定着を図る。【知】

3 学年

- ・ICTの機器の利用、フラッシュカード等を使用しての単語学習。英語でのスピーチ、発表などを行う。【関】
- ・ある程度まとまった量の情報を聞き取る。3分間リスニングや読み取りドリルの活用。【理】
- ・ALTとのチャット、ALTへのインタビュー等のための原稿の作成をし、実際にALTと会話することで、英語を話す力を身につける。【表】
- ・修学旅行等を題材にして、英文で日本を紹介する作品を作ることで、英語を書く力、それを暗記し、皆の前で発表する力を身につける。【表】
- ・単語テスト、小テスト等を繰り返し行うことで、既習事項の知識の定着をはかる。【知】